
野球のルール

あしのこう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

野球のルール

【Nコード】

N1035M

【作者名】

あしのこう

【あらすじ】

野球部でも無いのに野球に詳しい悲しい男子と野球をまったく知らない女子。

「野球ってどんなスポーツなんですか？」

何の前触れもなく伊藤恵理^{いとうえり}さんが話しかけてきた。

「どんなスポーツかって言われても・・・野球部の人に聞いたほうがいいんじゃないですか？」

「最初はそうしたほうがいいと思って野球部の人に聞こうと思ったんですけど・・・」

「何かあったんですか？」

「野球部の人達に聞こうと思ったら周りの女子から止められちゃったんです」

「何で止められたんですか？」

「野球部の奴らに話しかけると汚れる、と言われました」
相変わらずクラス内で悪い評判を受けてるな、野球部。

「そうなんですか、でも何で僕に聞きに來たんですか？」

「静弥^{しずや}さんから聞いたんです、野球部でも無いのにやたらと野球に詳しい悲しい男子がいるって、静弥さんとても心配してましたよ」

「そうですか、静弥から聞いたんですか」
心配というより馬鹿にしていますよね、それ。

「野球ってどんなスポーツなんですか？」

「どんなスポーツって言われても・・・」

まずはどの辺から話そうか、ストライク3つで三振、ルールから説明すると長くなりそうだな。

「さっき静弥さんから聞いたんですけど野球ってバットとボールで
するスポーツなんですよね？」

「ええ、まあ」

確かにその2つが無いと野球は出来ませんがその単語だけを抜き出すのは危ない気が・・・。

「他にも静弥さんから聞いたんですけど野球って11人でやるスポーツだって聞いたんですけど」

「11人でやるのはサッカーです、野球は基本的には9人でやるスポーツです」

DHの時は10人になるけど別に言わなくてもいいだろう、ていうか静弥め、嘘を教えやがった。

「あと、静弥さんから」

「ストップ、えーと、恵理さん静弥から聞いた野球のルールを教えてくださいませんか？」

「えーと、野球は裸でやるスポーツだとか、野球は水の中でやるスポーツだとか、他には・・・」

「もういいです」

「もしかして静弥さんの言った事って全部嘘なんですか？」

「ええ、野球はユニフォームを着て陸上でやりますから」

「そうですか、野球って難しそうですね」

いや、さっきの会話の中に正しい野球のルールはまったくと言っていい程無かったですけど、けれど、確かに野球のルールは膨大で複雑だ、口で伝えるのは難しい。

「何で恵理さんは野球に興味を持ったんですか？」

「えっと、野球ってどんなスポーツなのかなー、と思って」

恵理さんの頬が少し赤くなっているように見えたが気のせいだろう、今日は暑い。

「あのー、もしよかったら今度、一緒に野球の試合を見に行きませんか」

恵理さんは少し恥ずかしそうに言った、なんで野球を見に行くのを誘うのに恥ずかしがるんだ？まさか。

「あの、恵理さん、」

「な、なんですか」

恵理さんは緊張しているようだった、何でだろうか。

「野球はユニフォームを着てやるんですよ」

野球は裸でやらないから大丈夫です、別に見に行っても捕まりませんよ。

「……………フツ、フツフツ」

少し間をおいた後、恵理さんは笑い出した、何がおもしろいんだ？

「大丈夫です、さっきの質問でそれは分かっていますから、じゃあ、」
そう言うとき恵理さんはポケットからメモ帳を取り出して1番上の紙を破って僕に渡した。

「よろしくお願いしますね」

それだけ言うと恵理さんは静弥達の所に行ってしまった、僕は恵理さんが渡した紙を見た、そこには数字が並んでいた、サッカーをするのにはピッタリな数字だった。

(後書き)

初めての短編小説です。
感想を書いて頂けたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1035m/>

野球のルール

2011年1月13日08時07分発行